

## 防災通信 No.9

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

## 除菌・殺菌・滅菌・消毒・抗菌とは！

コロナウイルス や インフルエンザ対策 に 手洗いうがい に加えて アルコールが有効！ だという話の記事がありましたので、ここで少し紹介します。

薬局などに出かけると、売り場には「除菌」だの「消毒」だの「殺菌」だの様々なワードが付けられた製品が目にとまります。中には「抗菌」だとか「薬用」などという表現もあります。

どれも似たようなイメージでどれを選んだらよいのでしょうか。



『除菌』とは、**菌を減らす効果** のことです。菌を殺さなくても、例えば塗布した面から菌を減らせばOKで、どの程度菌を減らすかについても定義はありません。

『殺菌』とは、文字通り「**細菌やウイルスを殺す**」効果のことです。ただし、死滅させる菌の種類や死なせる量に明確な定義はありません。**90%の菌が残ってしまっても10%の菌が殺せていれば「殺菌」と謳うことができます。**

『滅菌』とは、**有害・無害を問わず、すべての菌（微生物やウイルス含む）を死滅・除去**することです。これは定義がはっきりとしていて、菌や微生物ウイルスなどの残量が100万分の1になることをもって滅菌とされます。

『消毒』とは、**病原性のある微生物を死滅・除去させて害のない程度にする** ことです。「殺菌」とも似ていますが、消毒の目的はあくまで「無毒化」であり、必ずしも細菌を死滅させていなくとも、病原体の感染力を不活性化させたり、病原体を危険ではない程度まで遠ざけることも無害化にあたるので消毒に分類されます。

『抗菌』はキッチン用品やおもちゃ、お手洗いやバスルーム周りの用品でよく見かけますが、これは **菌の繁殖を抑える効果** のことです。細菌を除去したり殺したりする効果はなく、あらかじめ菌が住みにくい環境を作ってくれるのです。ただ、これも対象となる菌や、菌の量、範囲などの詳細な定義はありません。

**購入時等、少しでもお役にたてれば幸いです。**